

まちかど

ネットワーク

「まちかどネットワーク」は、皆さんの地域の話題を中心にお届けするコーナーです。

皆さんの身近で起こった出来事、御意見などをお寄せください。連絡先：
市内永田町一―100 市広報広聴課
☎五―0233 内線二八三三
締め切りは毎月十五日です。

市長への
手紙から

浮島沼の自然を保護し 適正な開発を

このコーナーは「市長への手紙」をお寄せくださった人の中から、意見・提言などを紹介します。今回は、中里の井上和子さんからいただいた「浮島沼の開発」についてです。（「市長への手紙」の用紙は、各公民館などにあります）

〈市長への手紙〉

最近、浮島沼周辺で埋め立てが進んでいます。計画的な開発が進められているのでしょうか？周囲の埋め立てによる自然の減少から計画的な排水計画もなく埋め立てられている感じがします。

まずは、この地の今後の計画的な土地利用計画を明確にし、自然と開発の調和された環境が



井上和子さん

浮島の保全予定地域を保全

維持されるように願います。市民の憩いの場所となるような自然公園、遊歩道をつくることはいかがでしょうか。

市長への手紙ありがとうございます。

市長への手紙ありがとうございます。

浮島地区は一部を除いて市街化を抑制すべき区域として定められています。このため、この地区はおおむね農業の振興を図るところとして圃場整備等が計画的に行われてきました。

しかし、法で許される範囲で行われる個々の開発行為などに対し



△浮島の保全予定地域（国一バイパスの浮島工業団地信号東側付近）

て、無条件で規制するものではありませんので御指摘のような埋め立てが行われることもやむを得ないものと考えます。

なお、このような場合でも一定の要件に該当するものは届出を義務づけ、厳しい指導を行い乱開発の防止に努めています。

また、浮島ヶ原は約七千年の歴史を持つており、浮島ヶ原固有の植生や景観は、次代に継承する必要があります。このため、浮島ヶ原保全計画の一部地域に推進し、本年度から五カ年計画で保全整備を進めています。この保全区域は、植生保護や自然景観の保全、市民の身近な自然観察の場としていきたいと考えています。

岳南鉄道にドリームエクスプレスを走らせようと奮闘する富士青年会議所の社会教育委員長

山崎 豊さん

（依田橋町・33歳）



市内東部を黙々と走る岳南鉄道。オレンジ色のかわいい車両ですが、乗降客が減少し、ちよつと寂しげです。山崎さんを初めとする青年会議所の社会教育委員会の皆さんが、「地域の足、岳南鉄道を利用したまちづくりができないか」を話題にしているうちに、だれともなく言い出したのがドリームエキ

スプレス構想。子供たちから夢のある電車の絵を募集し、その絵をそのまま電車にかいてしまおうというものです。

実際、子供たちからの応募は約一千枚。このうち、かくや姫や宇宙など六枚の絵を選び、八月五日に百五十人の子供の手でかき上げます。そして、その電車は夏休み中運行されます。

「いやー、考えた以上に大変で」と笑う山崎さんですが、無邪気な子供たちの絵に励まされ準備に余念がありません。本業は製紙会社の専務取締役。温厚で折り目の正しさはだれもが認める青年実業家です。

